

2023.5

第76号

郡上市

議会だより



題字「郡上市」は、
郡上市立吉田小学校6年生
ふるかわ 古川 岳 さんの
作品です。



校内での郡上かるた大会



車いすバスケット体験

地域を学ぶ 吉田小学校の子どもたち



ヤナ体験



円空彫り体験

より開かれ
信頼される
議会をめざして

目次

政策提言に対する回答	2
新年度予算Q&A	4
3月定例会 主な内容	7
委員会活動報告	8
議長の動向	9
一般質問〈郡上の課題を問う〉	10
気軽にしゃべらまいか広聴活動 クイズの答え・皆さんからの声	19
クイズコーナー・編集後記	20

政策提言に 対する 回答

(抜粋)



※政策提言の詳細については、郡上市議会HPをご覧ください。

12月に議会から市長に政策提言した項目について、令和5年度
新年度予算への反映状況の回答がありました。

▼総務常任委員会

過疎対策事業債の活用

市全域が過疎地域に指定されたことを受け、元利償還金の70%を普通交付税として国が負担する有利な起債である過疎対策事業債が市全域で活用可能となったため、令和5年度においても積極的な活用を図っていく。

ワーケーションの推進

宿泊費を対象とした新たな補助金制度の創設によりワーケーションの利用促進を図り、個人を中心とした利用者の受入れを進める。

また、「郡上八幡 町屋敷越前屋」を活用したテレワーク実証事業を計

画し、ワーケーション滞在につながるよう取組む。

公共交通

郡上市地域公共交通計画に、バス路線の見直しや地域が主体となった移動手段の確保について盛り込んでおり、協議を重ねながら進めたい。

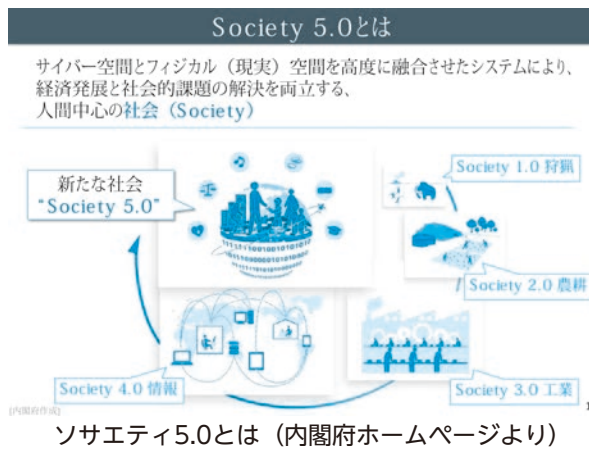
また、アンケート結果から、長良川鉄道の公共的な必要性を求める声はあると考えるが、維持に対する支援は年々増加している。沿線市町などと連携して、今後の鉄道のあり方について方向性を打ち出したい。

ソサエティ5.0の郡上市づくりにへの取組みの加速化

DX社会に通用する人材育成につながるため、ICTに触れる実践的

なプログラムを学べる場としての取組みを進めている。

ICTを活用した講座は難易度レベルを3段階に分けて計画しており、実践的な講座により主体的に学び、行動する力を育成し、将来の郡上を担うICT人材につなげたい。



▼産業建設常任委員会

森林の保全管理

災害に強い山づくりを進めるため、森林環境譲与税を活用した森林経営管理事業による森林整備や、生

活保全林整備事業による危険木の除去を実施している。

また、小規模森林整備事業において鳥獣害防止施設整備等の補助対象の拡充、スマート林業推進事業等により森林所有者に利益が還元される林業システムの構築を目指す。



森林整備後の山林（視察時の様子）

林業従事者の安全・衛生対策 支援

新たに林業労働安全衛生対策事業を立ち上げ、林業就業者全員を対象とした安全装備品などの導入の補助率を1/2から2/3に拡充し支援していく。

また、労働安全対策研修会の参加

促進を図るため、伐木安全技術評価会などへの参加も補助対象とするなど支援内容の充実を図る。

市内農産物の地産地消の構築

市内産農産物活用会議を開催し、流通実態の把握と市内農産物の需要拡大の取組みを推進する。

また、郡上旬彩館を拠点とした学校給食などへの市内農産物の活用促進や、SNSを活用した情報発信など需要拡大に努めたい。

観光施設整備の推進

市が指定管理委託をしている観光施設の修繕等は、利用者の安全確保・利便性向上の観点から優先度を定め実施している。

交流人口の増加が期待できる中部縦貫自動車道や濃飛横断自動車道の整備・計画の進捗を見据え、駐車場確保や新たな施設の必要性など検討を進め、実施にあたっては国・県補助金の活用を努める。

道路整備

広大な面積を有する市道は約11

00kmに及び、経年による路面の劣化、道路幅員や線形の改良など課題は多い。

道路は市民生活の重要な社会基盤であるため、安心安全な環境整備に向け道路整備、維持補修事業に努める。

▼文教民生常任委員会

学校教育（又はICT教育）におけるタブレットの活用

タブレットの操作方法を学年の発達段階に応じてまとめた「タブレット

ト操作技能一覧表」を整備し、市内のどの学校でも、どの児童生徒でも正しく活用できるようにする。

時間や場所に制限されず、多様な人々とのつながりを生み出せるICT活用のメリットを最大限に活かした授業づくりや児童生徒の情報活用能力をさらに伸ばすことができるよう、教職員の指導力向上に資する研修を進める。

県指定重要文化財若宮家住宅及び周辺施設の保存管理

当該施設の詳細な調査、修繕計画の立案、財源確保、活用方法の検討など、計画的な修繕整備が必要である。

敷地や施設の測量と図面化、今後の修繕整備計画を立案することも、国・県との調整を行い、保存に向けた制度の活用や財源確保について調整を行う。

重層的支援体制の整備に向けて

地域に潜在する支援対象者を早期に把握し、適切な支援につなぐ「アウトリーチ支援」や地域住民に支援

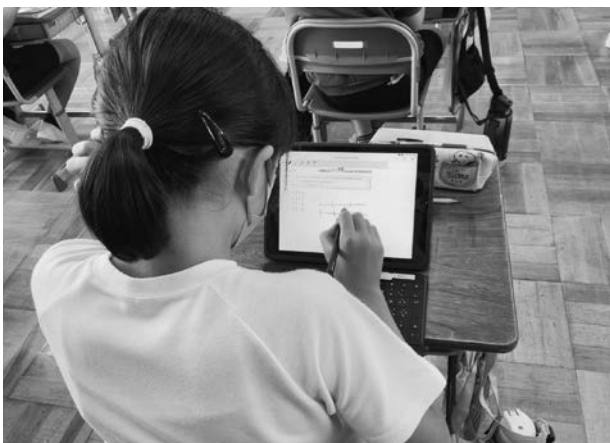
の担い手として参画してもらおう「参加支援」など包括的な支援体制の整備を行う。

また、重層的支援体制整備事業への移行準備事業を実施することで、関係団体との連携を強化するとともに、地域における課題解決力の醸成や必要な支援の方策も検討を進め、事業の早期実施を目指す。

郡上偕楽園建設に向けた事業の推進

郡上偕楽園の移転整備については、他の事業所との兼ね合いも含め、介護保険事業計画に大きく影響するため、市内の特別養護老人ホームで構成する協議会において課題等を共有するとともに、施設間の連携を深め適切な施設サービスの提供に努める。

また、基本設計については地元説明会や建設準備委員会などで意見を伺い反映させながら進めているが、今後も建設工事の進捗に応じて適切に情報提供の中で、さまざまな関係者の意見を幅広く取り入れるよう努める。



タブレットを活用する子ども

審

査

Q&A



予算特別委員会での審査の結果、全会一致で可決

総務費

問 「関係人口等獲得プラットフォーム構築業務」とは

答 行政点検の外部評価委員会からも、関係人口と呼ぶことができる具体的な人の数はどれだけのものかというご指摘を受けており、プラットフォーム構築と仕組みづくりを含め全体で取組みたいと考えている。構築業務については、郡上市の観光情報サイト「TABITABIT郡上」と連動するような形を考えている。

問 自主運行バスの利用者を増やすには

答 地域のサロンで乗り方教室を開催するなど、公共交通の周知に努めていきたい。

問 マリアージュ郡上（結婚相談）をなぜ直営にするのか

答 相談をされる方のニーズは、県が行っている「おみサポ（マッチングシステム）」への対応がほとんどであり、令和5年度から運営方法を見直すこととした。市内で婚活を行っている事業者なども連携しながら

民生費

出合いの場の創出に取組みたい。

問 庁舎の移転によって、リハビリ室など、美並健康福祉センターさつき苑の機能がなくなる部分への対応は

答 社会福祉協議会と打ち合わせながら、できる範囲のことで予算を立てさせていただいた。リハビリ室は、現体育館の隣の介護相談室で実施をしていたりなど調整を図っている。



美並健康福祉センターさつき苑

問 ファミリー・サポート・センター事業は市の直轄になるとのことだが、詳細は

答 これまでとシステムは変わらないう。利用する方が、安心して利用しやすいように、サービスの低下にな

らないように、今後も継続していきたい。



子育てをみんなで応援

衛生費

問 乳幼児健診を受診されない家庭へのフォローは

答 まずは健診にみえないときには電話連絡をする。つながらない場合は家庭訪問などをして、必ず出会う確認していく体制でやっている。

問 今年度、健康づくりプロジェクトに参加された方々の人数は

答 登録団体は現時点で4件で、年々下がっている状況がある。3人以上の要件を、2人以上という形にし、

新 年 度 予 算

一般会計 286億2300万円

改善をした。

問 クリーンセンターの新設に向けた
取組み状況は

答 今回は、今までのガス化溶融炉ではなく、維持管理費が安く取り扱
いも容易にできる、ストーカ炉方式
を選定して、現在作業を進めている。

問 クリーンセンターでの発電事業は
検討しているか

答 現在の段階では無理ではないかと
考えているが、十分研究したい。

農林水産費

問 昨年と今年では乳牛導入に関して
値段が変わってきており、それに比例
して、補助金を出すべきかどうか
もあるが、どのように考えるのか

答 いろいろな諸経費が上がってはいる
が、過去からずっと継続して優良家
畜導入事業をやることにより、
しっかりとした乳量や良い成分の乳
が出せる牛を確実に残していく目的
でこの予算を組んだ。決して少ない
補助金額ではない。

問 生活保全林の事業は伐採した後の
フォローも必要では

答 苗木を地元の方に提供し、植えて
いただくことを随時進めている。

商 工 費

問 大矢元工業団地の進出企業の見込
みは

答 実績では、県からの照会で、大矢
元地区が該当するのは9件。1件は
現地視察をされたが、他のところに
進出された。今後整備が完了したら、
さらなるPRをしたい。



美並町 大矢元工業団地の予定地 (枠内)

問 八幡城再建90周年記念事業で行わ

れる武者行列に出る役者は、どう
いった方々が対象か

答 行列は、市民の参加、そして市内
中学校から参加を募集し、実行委員
会の中で検討する。

建 設 費

問 県単独の林道整備事業の状況は

答 令和5年度は大和の西根線、高鷲
の二声線、明宝の八幡高山線の3路
線を予定している。

教 育 費

問 不登校の生徒に対応したF組設置
の保護者への周知は

答 不登校の生徒の保護者、適応指導
教室に通っている生徒、また学校か
ら相談のあった生徒に勧めていき
たい。

問 白鳥の合併記念公園と美並南部グ
ラウンドのトイレの洋式化工事は、
それぞれ何基か。また設置完了でき
る時期は

答 合併記念公園の管理棟のトイレ8
基、南部グラウンド3基を洋式化改
修したい。早急に発注したい。

新年度予算(特別・企業会計) 審査 Q&A

特別会計18件、企業会計3件(全会一致で可決)

特別会計 113億9094万円
企業会計 118億59万円



下水道事業会計

問 下水道の接続率は

答 市全体の接続率は、令和4年3月末現在で75・98%、地域別の接続率の割合は、八幡地域が71・44%、大和地域が83・7%、白鳥地域が70・77%、高鷲地域が84・26%、美並地域が75・69%、明宝地域が89・15%、和良地域が75・98%である。

問 接続率の低い地域は

答 八幡地域の公共下水道のエリアとなる市街地で接続率が51・3%である。

問 マンホール蓋部分の経年劣化に対する更新は



更新されたマンホールの蓋

答 随時ストックマネジメント計画に基づき更新している。現在の計画は令和8年度までの計画となっており、

今後は10年間隔で計画を立てるよう考えており、臨機応変に状況を見ながら進めていきたい。

病院事業会計

問 コロナ病床の状況は

答 市民病院では、現在8床をコロナ病床として運用しており、しばらくの間は病床を残しながら、新たな転換を検討している段階である。

問 市民病院のコロナ病床の今後のあり方は

答 具体的な方向性については、5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の5類への移行による影響や、国県の方針などを考慮して運営を考えていきたい。

問 医師、看護師の充足率は

答 市民病院では、常勤・非常勤あわせて18名の医師がおり、今後増えていく高齢者の泌尿器関係や、小児科などのアレルギーについては、大学に派遣を依頼している。白鳥病院で

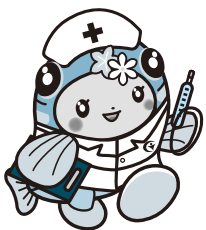
は、県からの派遣増加により、13名の体制になる予定で、どちらも現状では人数的には充足している。

問 コロナ関係の補助金により収益は増加はしているか。

答 市民病院は外来、入院患者の減少やコロナ病床の運営のため40床あった療養病床を閉鎖し、8床に減らしていること、補助金の対象が8床と少ないことから収益が減少している。白鳥病院は、令和3年度はワクチン接種の補助金により、収益が増加したが、今年度はワクチン接種の減少などにより相当少なくなることが考えられる。

問 透析治療が終わった方への対応は

答 市民病院、白鳥病院ともに透析終了後は、特別な休息室は設けていないが、1時間ほどベットやソファでゆっくり休息してから帰っていただくよう対応している。



3月定例会

(敬称略)

人事案件

(全会一致)

●教育委員会委員の任命同意

原 初次郎 (明宝) 任期4年

●公平委員会委員の選任同意

成瀬 秀博 (八幡町) 任期4年

●人権擁護委員候補者の推薦

後藤 哲夫 (八幡町) 任期3年

山内 正文 (大和町) //

和田 哲哉 (高鷲町) //

令和4年度一般会計補正予算

(全会一致)

2億5083万円増額

主な補正予算の内容

●ふるさと応援基金積立金

4月～12月までのふるさと寄附

金による積立金

2億1955万1千円増額

●長良川鉄道経営対策事業

令和4年度経営損失補てんの確

定見込みによる補正

7760万4千円増額

●子育て世帯生活支援特別給付金給

付事業

新型コロナウイルス感染症セー

フティネット強化交付金分

1759万9千円増額

●新型コロナウイルス商工緊急対策

事業

エネルギー価格高騰対策支援事

業補助金の延長

3205万4千円増額

主な条例制定・改正

16件

(全会一致)

●督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備

金融機関の事務手続き変更によ

り督促手数料の徴収が困難になる

ことから、関係12条例から同手数

料の規定を削除する

●消防団員の定員、任免、給与、服

務等に関する条例の一部改正

▽年額報酬の改定

副分団長3万5千円→4万5千

円、団員2万5500円→3万6

500円、その他

●郡上八幡城の設置及び管理に関す

る条例の一部改正

▽入場料金の改定

大人(高校生以上)320円→

400円、小人(小・中学生)

150円→200円



料金改定前の八幡城の入城受付

●水道事業給水条例の一部改正

営農用水道料金の特例期間を令

和7年3月31日まで延長する

●避難行動要支援者名簿に関する条

例の制定

要支援者名簿の作成及び避難支

援等関係者への提供に関する条例

の制定

●特定教育・保育施設等の運営基準

条例の一部改正

懲戒に係る権限の濫用禁止規定

の削除(児童虐待を正当化する口

実となっていた懲戒権が民法およ

び児童福祉法から削除されたこと

による)

●家庭的保育事業等の設備及び運営

基準条例の一部改正

懲戒に係る権限の濫用禁止規定

の削除。安全計画の策定。自動車

送迎の安全管理(バス置き去り防

止装置の設置)

●放課後児童健全育成事業の設備及

び運営基準条例の一部改正

安全計画の策定。自動車送迎の

安全管理

●国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金を40万8千円か

ら48万8千円に改定

専決処分した事件の承認

(全会一致)

●令和4年度一般会計補正予算

5億9863万6千円増額

・水道事業会計へ繰出

・農作物次期作支援事業

・道路除雪経費

●令和4年度水道事業会計補正予算

4496万2千円増額

エネルギー料金高騰による負担

増を支援するために、水道基本料

金免除事業の対象期間を2か月

(12月・1月)延長するもの

請願

(賛成少数)

「安保関連二文書及び軍拡のため
の増税案の撤回を求める意見書提出
を求める請願」

総務常任委員会

意見交換会

GUJO SOCIETY (郡上ソサエティ) 5・1との意見交換会

令和4年11月17日、郡上ソサエティ5・1と意見交換を行いました。

郡上ソサエティ5・1は、未来の郡上市を想う有志が集まり、市民レベルでこれからの郡上市のあり方を新たな視点で考え、「未来永劫幸せに暮らせる地域社会」のモデルケースを構想するため、「郡上らしさ」を加えて未来の社会を築きたいという想いから、独自に、5・0をバージョンアップさせ、郡上ソサエティ5・1として活動されています。

市の小さな拠点とネットワークの考え方も踏まえ、令和4年10月に実施した総務常任委員会の行政視察での考察と併せ、議論を交わしました。

ソサエティ5・0では、IoTやAI、ロボット、ビッグデータなどの先進テクノロジーを産業や社会生活に取り入れることで、社会的課題と経済発展の両立を可能にすると期待されている。

各地域方面隊との意見交換会

令和4年8月から令和5年3月の間、市内5地域の方面隊と意見交換を行いました。

今後起こりうる災害への備えや減災への取組みを実施していくためには、地域防災力の強化が重要であり、消防団と地域が連携した防災体制に取組む必要があります。

人口減少に伴う消防団員の確保や出務の負担軽減、消防設備、報酬などをテーマに、現状と課題を把握し、消防団の抱える実情から今後の地域防災の要である消防団を将来にわたって維持していくために意見交換会を実施しました。

活発な意見交換が行われ、各地域方面隊の隊員の方々の誠意と熱意が感じられ、大変有意義な意見交換会となったことは大きな成果でした。

新たな組織体制を構築するため「郡上市消防団組織再編計画」の策定に反映されるよう総務常任委員会としても、今後も各地域の方面隊との意見交換会を実施していきます。



産業建設常任委員会

意見交換会

郡上建設業協会との意見交換会

令和5年1月31日、郡上建設業協会と意見交換を行いました。

協会の役割と現状についての説明と、要望事項（今後のインフラ整備の策定、バイオマスエネルギー及び林道整備、水道行政）について説明を受け、各委員が道路整備や除雪など、市民生活を守るために尽力されていることを再認識するとともに、各種計画の早期策定と事業実施に向けた働きかけ及び財源確保の取組みについて話し合いました。

郡上鮎の会との意見交換会

令和5年3月13日、郡上鮎の会と意見交換を行いました。

郡上鮎の会の組織概要や、中高生鮎友釣り選手権の運営実績について説明があり、選手権の運営を中心として、今後さらなる活動（イベントエリアの拡大、実況解説・配信の充実、スポンサー制度の導入、ライフジャケット開発、外国人選手の招待など）を検討していることや、中高生が主体となり自発的にCATV番組の撮影や支援プロジェクトの活動を行っていることについて、各委員が意見交換をしながら、会の現状や課題について共有を行いました。



中学生・高校生から説明を受けました

文教民生常任委員会

意見交換会

郡上市民生委員児童委員協議会との意見交換会

令和5年3月10日、郡上市民生委員児童委員協議会との意見交換を行いました。

委員の活動は、在宅高齢者の生活支援、児童の健全育成、障がい者の自立生活支援など活動の範囲は非常に広く、地域福祉の推進や向上には欠くことのできない存在であります。

地域ごとの代表の委員から活動内容や課題をお聞きする中で、行政からの依頼は、福祉分野に留まらず災害対策、消費者保護、交通事故予防など幅広く、十分な知識や情報が必要となっており、研修会などを含め活動時間も増大していることや、委員の引き受け手は少なく高齢化も進んでいるという現状がわかりました。

委員の活動環境を整えるためには、仕事内容の明確化とスリム化、民生委員と児童委員の区分けや行政からの依頼事項にどこまで関わるのかという点を明確にしていかなければならないと感じました。

個人情報の取扱いに注意しながらも情報の共有



化や他機関の連携を図り、スムーズな活動ができるよう体制づくりを至急行わなければならぬことを感じました。

濃飛横断道整備促進特別委員会

令和4年度から国による直轄調査が進められている濃飛横断自動車道の「堀越峠工区」については、2月16日、国の権限代行による令和5年度の新規事業化及び関連する「和良工区」の県への新規補助事業化について、郡上市として関係機関に対し要望を行いました。

その後、2月28日に国土交通省の調査結果がまとまり、地すべり面の滑動や断層破砕帯からの湧水、空洞の通過などが複合的に発生する恐れのある箇所でのトンネル掘削となるため、高度な技術力を活用することにより事業実施が可能との結論が出

されました。

さらに、3月15日に国土交通省道路分科会事業評価部会においては、令和5年度の新規事業採択箇所として予算化すること「妥当」とする判断がなされました。



全国市議会議長会

「海洋プラスチックをはじめとするプラスチックごみ問題に関する特別委員会」第3回委員会
田代はつ江議長は、令和5年2月7日に開催された第3回委員会に参加しました。



委員会では田代議長が「郡上市プラスチックごみゼロ宣言」について発表しました

議長の動向

委員会では循環経済についての講演や「海洋プラスチックをはじめとするプラスチックごみ問題に関する要望・提言」について取りまとめが行われました。

2月8日には、岐阜県選出の金子俊平衆議院議員、渡辺猛之参議院議員、大野泰正参議院議員事務所を訪問し、要望書を提出し、併せて「郡上市プラスチックごみゼロ宣言」について説明しました。

郡上の課題を問う



あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に質問を行い、見解などを求めることです。3月定例会の一般質問には通告のあった16名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

また、YouTubeでの一般質問録画配信も行っております。



YouTube

●郡上市 HP > 郡上市議会 HP > 一般質問録画配信 からご覧いただけます。

一般質問一覧

	議員名	質問事項
1	尾村 忠雄	1. こども家庭庁について 2. 郡上市土砂災害ハザードマップについて
2	田中 やすひさ	1. 脱炭素への取組みについて 2. 事業承継について
3	清水 敏夫	1. 『どうする日置市長』市の大人の歩みとは！ 2. 関係人口の創出・拡大と移住・定住の促進は
4	美谷 添生	1. 公共交通 2. 職員管理 3. 自然エネルギー
5	森 藤文男	1. 森林整備と森林環境譲与税について 2. 地域の活性化に向けた取組みについて
6	三島 一貴	1. ニセ電話詐欺対策について 2. 交通網について
7	兼山 悌孝	1. 行政用語は整理できないか 2. 道沿いに捨てられるポイ捨てごみの対策は 3. 濃飛横断自動車道の開通に備えた整備計画は
8	原 喜与美	1. コロナ感染症のワクチン接種について 2. 小さな拠点づくり構想の進捗は

	議員名	質問事項
9	本田 教治	1. 新型コロナウイルス感染症対応交付金について 2. 地域ボランティアについて 3. 市民協働センターについて
10	野田 勝彦	1. 原子力災害時の住民避難計画は 2. 会計年度任用職員の任用状況は
11	森 喜人	1. さらに深まる介護社会に向けて (3)
12	蓑島 もとみ	1. 融雪剤散布の有効的活用を 2. 地域ぐるみの体験学習
13	田代 まさよ	1. ヤングケアラーについて 2. マイナンバーカードについて
14	長岡 文男	1. 小中学校におけるマスクの着用について 2. 子育て環境の充実について
15	田中 義久	1. 職員定数の確保と明るく元気な市役所づくり 2. DX推進による行政改革と産業振興
16	山川 直保	1. 関係人口増を目指して

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。

問 子ども家庭庁への対応は

市長 関係機関が連携し今後柔軟に対応する



尾村 忠雄

日置市長

市の組織体制は現状維持。健康福祉部に児童家庭課、健康課があり、もう少し範囲を広げると、市長、副市長が総合調整しなければならぬ体制となっている。子ども家庭庁ができたが、市としては現行の部課制に変更を要する点はない。

また、市としては子どもの意見を聴き、子どもからの提案を重視する。今回「子ども基本法」の施行に伴い、

「市長と語ろうふれあい懇談会」を開催する中で、新年度は子どもとの懇談会も大歓迎で多くの声があることを望んでいる。今後子どもたちの意見や、子育て世帯の意見を汲み取り、社会教育、学校教育での参画も必要なので教育委員会との連携も、重視していく。

警戒区域の指定

土砂災害ハザードマップは、市民にとって必要である。マップの調査、更新はどうか
加藤総務部長

土砂災害にかかる警戒区域などの指定にかかる調査と区域指定は、土砂災害防止法に基づき県が実施。調査内容



地域に配布するマップ

と指定にかかる手順は、県が土石流や急傾斜地の崩壊のおそれのある土地に関する地形、地質などの状況、土砂災害の発生のおそれがある土地の利用状況などについて基礎調査をし、県は結果を公表し、市に通知する。

また、県が調査結果を地権者などの関係者に対して、説明を行い、県から市に対して指定にかかる意見照会を行い、県が公示しイエロー、レッドゾーンが指定される。



田中 やすひさ

問 今後の公共施設の脱炭素のあり方は

総務部長 原則として再生可能エネルギー設備を設置する

先行して木質ボイラー化を実施した2施設の現状と今後の公共施設の脱炭素のあり方は
可児商工観光部長

明宝温泉湯星館は、木質ボイラー2台と灯油を燃料とする補助ボイラーの計3台を併用し、施設内の給湯設備、源泉浴槽の加熱、床暖房を運転している。

木質ボイラー導入後は、灯油の年間平均使用量が約3万5千リットルであり、導入前と比べ81%削減されている。排出される二酸化炭素も年間367トン削減したこととなる。

燃料コストは41%の削減が図られている。

田口健康福祉部長

明宝デイサービスセンターは、薪を燃料とする木質ボイラーと、灯油を燃料とする補助ボイラーを併用して給湯を行っている。

令和3年度実績における燃料の使用量と平成26年度の灯油使用量を比べると、9625リットルの灯油の使用を抑制したこととなる。

燃料コストについては現状の木質ボイラーの方が、年間で約73万円有利とみている。

加藤総務部長

今後、施設を新築する場合は、原則として、再生可能エネルギー設備を設置する方向で検討する。防災拠点となる庁舎や避難施設などは、主たる電源に加えて、大規模改修の機会に災害時や日常の補完的な役割としての設置を検討する。



災害時に機能する蓄電池

問

『どうする日置市長』 4期の市政運営と 持続可能なまちづくりは



清水 敏夫

15年間の市政運営で、今思われることは 日置市長

市長 工業団地造成や再び観光立市郡上を、更に脱炭素社会とDXの推進

平成20年緊張の中、市長に就任、旧町村の意識を超えた一体感を作り、公平公正な市政展開を考えた。必要な事業を続けながら財政の健全化を心がけ、この間力を入れた取組みは郡上学の開催、高校生までの医療費無償化、観光立市郡上など。

ここへきて、コロナをはじめ常に変転する国際情勢や経済の変動の中、財政運営では市債残高の大幅削減と、実質公債費比率も11%台にしたが、今後の課題を考えると、これで楽だという時代はやってこないと思う。

令和6年3月1日の合併20年を節目に、将来に向けての持続可能なまちづくりは

市長 できる限り人口が減らないように、出生児数を多く確保する仕組みを考

えたい。また、産業の発展では美並大矢元の工業団地造成や、再び観光立市郡上に勢いをつけたい。新たに、脱炭素社会やDXの推進としてデジタル技術を使った行政、産業、地域などの面における変革に取組みたい。

いつになっても新しい課題は出現し、今後も「どうする郡上市」「どうする市長」の連続だろうと思う。「どうする」という時に、常に状況を客観的に認識しつつ最後は自分たちの頭で考え、力を合わせて行動し事を起こし、更に次へと挑戦をしていく市政が展開できればと考えている。



市長肝いりの「郡上学」の開催

問

長良川鉄道の特急列車の運行は

市長公室長



美谷 添 生

美濃太田―郡上八幡間で 約30分短縮できるが運行は困難

いる。令和5年度策定を目指している「(仮称)郡上市再生可能エネルギー「基本計画」の中で推進や規制の方針を示したい。

懸念は、のり面の崩壊、濁水、騒音、反射光、工事に関する粉じん、騒音・振動、景観、動植物の生態系に対し、生息・生育する場所の消滅縮小、自然との触れ合いの活動の場の消失・縮小したりすることがあげられる。

その他太陽光パネルには、鉛、カドミウム、ヒ素、セレンなどの有害物質が含まれていることから再使用、再資源化を適切に行った上で、管理型最終処分

場への埋立が定められているが、事業の終了した施設の放置や不法投棄、最終処分場のひっ迫も懸念事項である。条例は、太陽光発電設備などの設置を規制する単独条例は都道府県が5条例、市町村が191条例となっている。

内容は設置を抑制する区域を定める所が多いようである。市として条例化について検討していきたい。



この景色はどうですか？

問

令和5年度森林整備に関する

予算のポイントとは

農林水産部長

森林の公益的機能向上や脱炭素社会郡上の実現、ICT

技術を活用したスマート林業、基盤整備事業の3点がポイントである



もり ふじお 森 藤 文 男

カーボンニュートラ

ルを見据えたグリーン成長を実現するため、CO₂森林吸収量の確保・強化や国土強靱化林業の持続的発展などを図る必要がある。

間伐の着実な実施に加え、主伐後の再造林幹線となる林道の開設、改良などを推進することが、令和5年度の林野庁の森林整備事業の予算のポイントである。国の動向も見据えた、令和5年度の森林整備に関する市の予算編成

のポイントは

田代農林水産部長

ポイントは大きく3

つ、1つ目として国庫補助事業を活用した森林整備に対し、造林推進事業や主伐・再造林推進事業などで高上げ補助を行い、森林整備を推進していく。

次に、国庫補助事業ができない箇所については、森林環境譲与税を活用して、小規模森林整備事業、生活保全林整備事業などによる森林整備を推進する。

森林所有者が自ら経営管理できない森林については森林経営管理制度を活用した森林整備を推進する。

2つ目として、ICT



森林環境譲与税の有効活用で、更なる森林整備の推進を

技術である航空レーザ計測データを活用する森林情報管理システムを活用した効率的で高度な森林経営計画などを作成する実証事業などを実践する。

3つ目に、安定した森林づくりのための、森林整備の基盤となる林道網整備や、治山対策事業による山地荒廃防止策を推進していく。



しみず かずき 三 島 一 貴

問 ▶ 白鳥インターにバスストップの設置を

市長 交通事業者が利用してもらえよう協議していく

高速バスのバスストップを白鳥インターに設置する件を令和元年12月の定例会で一般質問をしたが、その後の取組みは河合市長公室長

質問のあと、白鳥地域

内での高速バス停車について岐阜乗合自動車株式会社と話したが、新型コロナウィルス感染症が蔓延している時で、ある程度コロナ禍が収束し、乗客が回復するなどの見通しが立たないと検討することは難しいとの返答だった。従って、コロナ禍の収束を待って、改めて協議を行いたいと申し入れた。

また、令和3年度には、市長と岐阜乗合自動車株式会社社長との面談にて、白鳥ICバス停への停車について要望を行っていた。

今年5月には新型コロナウィルス感染症の5類へ変更が決定されている

ことや、観光客の回復が見られることから、令和5年度には岐阜乗合自動車株式会社との協議を再開したいと考えている。

ぜひ積極的な交渉を進めて欲しい

日置市長

現白鳥ICバス停については、地下道が造つてあるが、バス停や駐車場の整備などについて検討が必要である。まずは交通事業者が1社でも白鳥ICバス停で乗降することと同意してもらわないと施設は整備しただけ利用されていないということになるので、交通事業者が利用をしてくださるよう引き続き協議をしていきたい。



白鳥インターバスストップ候補地

問 ▶ 道沿いに捨てられるポイ捨てごみの対策は



かみやま やすたか
兼山 倮孝

環境水道部長 関係団体や警察署との連携により取組む

「郡上市プラスチックごみゼロ宣言」をした今こそ、繰り返し捨てられているごみを捨てなくすよう、徹底的に行動するべきでは。

市民の方からも徹底的にやってほしいと言われているが

猪俣環境水道部長

ごみに含まれているプラスチック類は生態系に影響をおよぼすとして、地球規模での問題となっている。

市はパトロールや監視カメラ設置などの措置をしていて、10年前と比較し少なくともなっているが無くなっていないのが現状である。

ポイ捨てにも状態により、ポイ捨て等防止条例違反・軽犯罪法違反・廃棄物処理法違反・道路交差法違反などの罪状で、罰則を与えられることがある。

昨年の12月に「郡上市プラスチックごみゼロ宣



市内の道路沿いに捨てられたごみ

言」を行ってその周知を図りながら、関係団体と連携して啓発と清掃活動の参加を促し、また環境教育の充実として環境汚染情報の発信や、自主的に正しい行動ができる子どもたちを育むことを目標にしている。

警察署との連携により、「ポイ捨て」を常習的に行っている個人の特定にも取組み、地域全体で「ポイ捨て」を無くそうとの意識の向上を図りたいと考えている。

問

コロナワクチン接種の状況と接種後の副反応の状況は

健康福祉部長

副反応の大きな事例もなく、接種も含め順調に進んでいる



ほら きよみ
原 喜与美

市内の感染者数が累計9500人で、市民の4人に1人が感染している状態だが、市内の接種状況はどのようであるか。また接種後の副反応はどのようであるのか

田口健康福祉部長

ワクチンの接種は、これまで5回行っている。接種対象者に違いがある事から回を追うごとに接種率は下がってはいるものの、県平均を上回り、市の中では高い接種率となつ

ている。

また、接種後の副反応については、市で相談を受け付けているが、死亡や生命に危険があるような特に重大な副反応があったとの相談は受けていない。

国では「予防接種後健康被害救済制度」があり、健康被害が生じた場合はこの制度で対応することとなっている。

5月以降、5類への移行後も、令和5年度中は無償で接種可能とされたため、今後、医師会と協議を行い具体的な計画を立てる。



「小さな拠点とネットワークづくり構想」
進捗状況は

三輪市長公室付部長

小さな拠点のエリアは旧町村を単位とした考えで進めている。ただし、八幡・白鳥地域においては、人口規模が大きいことから、小学校区を基本とした単位をサブエリアとして位置付けている。

現在は、地域運営を推進するための仕組みづくりの方針や行程等を明らかにする「行動計画」について庁内で検討を行っている。

今後は、計画の完成に向け、地域協議会への意見聴取や自治会への周知等を進めていく。

問

市独自の地域ボランティアの 宣言と設立は

総務部長

自治会と行政は

別組織のため難しい



ほんだ きょうじ
本田 教治

住民の65歳以上が過半数となり、地域行事などの存続が困難となる「限界集落」において自治会が関わり「市をあげて」行う地域ボランティアの宣言と設立は

加藤総務部長

自治会は、行政とは別の自立した組織であるため、行政が主体的に行うことは大変難しい。市の宣言については「郡上市住民自治基本条例」において「市民は、まちづくりの担

い手として、地域活動への積極的な参加に努める」旨を定めており、これが宣言に相当するものと認識しており引き続き啓発していく。魅力ある地域づくり推進事業補助金について

補助回数の追加支援の検討は

三輪市長公室付部長

自立した地域社会を実現することを目的とした補助であり、1団体が受けられる補助回数は制限されている。令和5年度に本補助制度が10年を迎えることから昨今の社会情勢等を考慮し、何らかの施策が打てないか研究を行う。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

総額と、多岐に渡る分野別の充当額を、年度ごとに市民に分かりやすい一覧表での公表は

市長公室付部長

決算見込みであるが、154事業、総事業費は約25億7千万円となっている。事業完了後には、広報郡上などを活用した公表方法を検討する。



地域ボランティア風景



のだ かつひこ
野田 勝彦

加藤総務部長

八幡、大和、美並、明

宝、和良の5地域は、「原子力災害対策強化地域」に指定されているが、原発から30km圏内で避難を要する「避難対象地域」にはなっていない。しかし、市の防災計画では屋内退避などの安全確保をすることとしている。

「原子力災害に係る県の避難方針」では、大垣市民の避難者1900人を本市の白鳥町と高鷲町で受け入れる計画である。避難経路所や避難場所などの確保はどのように計画されているか

総務部長

経路所は、白鳥・C近くの「合併記念公園」あるいは道の駅の駐車場などを想定している。

受入れ先は、白鳥と高鷲の体育館など指定避難所47か所、収容人数は約6600人と、十分に収容が可能である。

会計年度任用職員

任用状況は

会計年度任用職員専門性と持続性が大切であり、適正な待遇と継続が求められる。本人への継続希望のヒアリングはあるのか。賃金などの労働条件の改善など、再任用の状況はどのようになっているか

河合市長公室長

本市では応募が少ない場合があり、任用回数に制限を設けていない。再任では意向を確認し、評価良好、8割以上勤務満65歳未満の場合は再任することとしている。

報酬については、職種や経験年数、再任などにより額の見直しをしている。



合併記念公園駐車場



もり よしと
森 喜人

介護職が「介護のプロになる」という 自覚で取組んできたか

健康福祉部長 **キャリア段位制度を活用し、
市全体のレベルアップを図りたい**

介護保険制度が導入されて約四半世紀。今一度原点に返ってみては田口健康福祉部長

介護保険の適正化の取り組みの中で、事業所に対し、法令順守に関する指導はしてきたが、人材育成の観点から、民間サービスを含めた介護職の資質に踏み込む指導はしていない。それぞれの事業所で特色を持って行われてきた。

しかし、市全体のレベルアップのためには、目指すべき人材像が関係者全体で、明確に共有されることがのぞましい。また、その人材像は、普遍性が高く、すべての事業所の納得の得られるものでなければならぬ。

国では、平成24年から「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」を創設し、普及に取り組んでいる。市としてもそれを導入したい。

市のレベルアップのため

め、「介護技術コンテスト」を開催してはどうか健康福祉部長

介護技術を競う大会は、介護職の技術向上の動機付けや、事業所内の一体感を醸成する契機となりうることで、広く介護職の魅力を発信できることなど、大きな意義があると考える。

当市での開催にあたっては、事業所の協力が欠かせない。慢性的な人材不足や、長引く感染症対策で、介護事業者にこうしたコンテストへ向かう、心理的な余裕があるかどうかにも配慮が必要であり、事業者の意向をよく確認して検討したい。



問

子どもたちと 地域ぐるみの体験活動を

市長

事故を防ぐ手立てを講じながら子どもたちには体験をさせたい



あおやま
奥島 もとみ

夏の川から子どもたちの声が消えてから久しい、近年の異常な高温気候の中で夏休みに

ある。命にかかわるような事故を防ぐ手立てを講じながら子どもたちには楽しい経験をさせてやりたい。それには保護者や地域の方々の工夫、努力が必要であり安全意識の構築が必要である。

もかわらず屋内で過ごす子どもが多くなり屋外での元気な声が聞けなくなっている。健康、精神面はもちろんだが五感全てを使った「川遊び」は子どもたちの成長に大きなプラスになるのではないかと日置市長

地域ぐるみの体験活動は子どもたちだけでなく保護者やシニアまで活力をもらえるのでは

熊田教育長

公民館長から「みんなで力を合わせてやることがおもしろい」とのことばを受け、今回のデイキャンプが行われたが「地域とともにある学校づくり」として幼児やシニアまで参

凍結防止剤散布について基本的な打ち合わせはされているか
小酒井建設部長

以前、「よい子は川で遊ばない」というポスターがあったそうで

豪雪地域にとって道路の除雪対応は必要不可欠な業務であり、受託業者と連絡を密に努めて除雪体制の維持に努



吉田川での川遊びの様子

問 市におけるヤングケアラーの状況は

健康福祉部長



田代 たしろ まさよ

現段階でヤングケアラーに該当すると思われる事例が6件ある

ある。

自分から助けを求めづらい環境である子どもたちの権利や生活を守るために調査を実施し、支援策に向けた取り組みは

健康福祉部長

社会福祉課のケースと高齢福祉課のケースで2件。学校教育課のケースで4件ある。学校、行政関係機関が連携して対応し、支援を継続中。外国籍の市民も増加傾向にあるので、翻訳機の使用や通訳ボランティアなどの協力でのいであるのが現状である。

ヤングケアラーの支援体制強化、外国語対応通訳派遣支援などの活用を検討する必要がある。

国では地域の実情を調査・把握することを推奨している。より実効性のある実態把握方法を検討し実施していきたい。

今年4月には、「子ども家庭庁」が発足する。市では、組織統合して「子ども家庭センター」として設置することを目標としている。このことにより関連部門が連携し、すべでの妊婦、子育て世帯、

子どもに対して、相談や支援を行える機関となる。ヤングケアラーの早期発見と適切な支援ができる組織と考えている。

ヤングケアラーに対する認知度はまだ低い。市民や関係団体への啓発活動を行うと共に、ヤングケアラーの定義と支援の必要性について各機関、団体の共通認識の醸成、多機関連携による支援体制強化を図る。



長岡 ながおか 文男

問 ファミリーサポート事業の運営体制は

健康福祉部長

新年度より、市直営事業として実施していく

事業の課題はサポート場所、報酬金額、利用料の支払い方法、サポート会員のトイレ問題、事故対応などがあるが、今後どのように対応するのか

田口健康福祉部長

サポート場所については一部の公共施設での預かりが可能になっている。

今後は公共施設を中心に、課題解決に迅速に対応できるようにする。

また、報酬については、依頼会員が支払うサポート料金に、市が上乗せ補助として令和4年度は310円の補助を行っていたが、新年度からは、報酬額が岐阜県の最低賃金以上となるよう410円の補助を行う。

子どもセンター、児童館、公園などの拠点整備についての取組みは

健康福祉部長

身近な場所で、各地域の実態に合わせた取組み

やほつとサロン、児童館などで特色を生かした子育て支援活動を実施していきたい。施設の新設は容易なことではないので、担当部署と協議していきたい。

小中学校におけるマスクの着用について

マスク着用は個人の判断に委ねられることとなったが、今後どのような方針とされるのか

熊田教育長

マスク着脱については各自の意思を尊重し、そのことが仲間外れ、いじめなどにつながるのではないように、十分配慮していく。全ての教育活動と同様に、一人一人の命と人権を大切にしたい取り組みを進めていきたい。



この子らのために



田中 義久

市役所各部は定数に対して 人員不足になっているのではないか

市長公室長 普通会計では今年度職員数は
定数に対して15人の不足がある

事業の繰越や市民対応を見ると各部では定数に対して人員不足になっているのではないかと。そのことは市民サービスの低下につながっていないか
河合市長公室長

普通会計の今年度の職員数は、計画人数505人に対し20人の不足で、再任用短時間勤務職員を加算すると実質15人の不足である。病休は9人ある。採用試験の前倒し、募集年齢の見直し、試験回数が増など採用確保に努力し、事務の効率化や見直し、働きやすい職場環境づくりとメンタルヘルス対策等にも取り組む。

日置市長

市政推進の原動力は職員のだと実感している。今回は雇用対策協議会の企業ガイダンスにも参加して3人の採用ができた。ただ、人件費は市民の負担であり「最少の経費で最大限の効果を上げる」という意識も求めていく。

最高情報責任者(CIO)・DX推進アドバイザーとは何か。DXはこれからどんな展開が見込まれるか
市長公室長

CIOは情報技術を活用して行政経営の変革を推進する責任者で副市長が当たる。アドバイザーはDXに関する施策立案や人材育成などを担い、公募型プロポーザル方式によって提案を募り、事業者を選定して業務を委託する。

青木副市長

まずは「ICTを業務の一部に活用する」、2つ目は「業務を実施する過程をデジタル化する」、3つ目は「働き方やくらし方をより便利にする」という三段階で進めていく。



問

SDGsの取組みを活かし 関係人口増を目指す施策を

市長

人口減少・環境問題などを踏まえ、
提案に対して真剣に検討し取組む



山川 直保

1つ目は、源流域の環境を活かし、自然を楽しめる「旅の企画・企業研修や新規事業を創り出すワークショップ」
2つ目は、森づくり活動や四季を通じた山・川での体験ができる「植樹や河川の清掃といった、社会貢献活動やふるさと寄附「エコツーリズムの実施」」
3つ目は、本市の豊かな森林と森林環境譲与税の活用を視野に、地球温暖化対策に資する「森林整備に参加する活動」都市部の自治体・企業が整備する施設への木材供給」
4つ目は、「再生可能エネルギーによる電

2015国連サミットで採択されたSDGsは、国内でも自治体をはじめ多くの企業が積極的な姿勢を見せている。その具体的取組みを本市のフィールドで行えるよう下流域企業などにセールスをさ

りたいが
青木副市長

SDGsの目標は17

あるが、本市の森林や清流長良川をその取組み場所として想定し、4つの目標を視点に考えられる施策を述べる。

力活用分野での地域貢献」
これら、考えられる施策を企業・他自治体に提案するよう検討したい。

財産区有林を含む、特に内ヶ谷市有林などを企業向けSDGsの森として提供できないか

田代農林水産部長

例として市有林には、「ブラザーの森郡上」がある。実績として15年間の活動で参加累計2288人の関係人口があり、今後も、産学官民の多方面に「協働による森づくり」事業を進めたい。



気軽にしゃべらまいるが

広聴活動



第3回は郡上市ファミリー・サポート・センター（ファミサポ）の方々と意見交換を行いました。ファミサポでは、生後6か月から小学生までのお子さんが利用でき、預かり・送迎・緊急時の子どもサポートなどを行う活動をされています。

子育て中の家族の「困った」をサポート会員がサポートする相互援助活動ですが、会員不足や場所の問題などの悩みもあるなどの意見をいただきました。



※この事業は、令和5年4月1日より、NPO法人から本市の子育て支援センターに移転され、直接運営となります。

クイズの答え《第75号出題》

ご応募いただきありがとうございます。90名の方から応募がありました。いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は 問1 ②若宮家住宅 問2 ①3億6009万8千円 問3 ③2月24日

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・感想の中から、一部を要約して紹介します。

- 学校で稲刈りをして、はさにかけている表紙を見て、子どもの頃のことかなつかしく思い出されます。家族そろって夜遅くまで稲刈りをしました。しばらくも祖母におそわり、いろいろな作業をやってやっとお米ができました。今のようにはなく、麦めしでした。今の白米を食べておいしくて幸せです。 美並 81歳
- クイズのおかげで議会だよりをしつかり読むようになり、内容も良くなるようになりました。 美並 78歳
- 今は大学院生で市外に住んでいます、実家に帰ってきた際に、自分の地元の様子を知るツールとして読ませていただきます。将来帰ってきたいと思っておりますが、帰ってきた時にも大好きな郡上が変わらず、素敵な場所であり続けられるように、よろしく願います！ 白鳥 24歳
- 川合小学校での米作りはとても良い事だと思います。子どもたちの心も豊かに育ち、苦労して作ったお米の大変さや大切さもわかってもらえるので、とても良い取組みだと思いました。 八幡 22歳
- 結婚を機に他県から郡上に移住し、もうすぐ1年が経とうとしています。4月から郡上の素晴らしい四季を感じることができました。美並の国道沿いの桜吹雪、下駄の音が心地良い郡上踊り、せせらぎ街道の紅葉、人生で初めて雪かきをした寒波の日。私にとってどの季節も素敵で、新鮮で、楽しくて。どんだん郡上の虜になっています。これからも他県から越してきたからこそ、感じる事ができることを存分に楽しみながら生活していきたいです。 八幡 32歳
- 米づくり体験はとてもいい事だと思います。お米になるまでの過程を知る事で一粒のお米の大切さが身にしみてわかるのではと思います。 美並 73歳
- 不登校児童の校内フリースクールの設置の記事を読み、涙がでました。このような取り組みが始まっていると知り、嬉しく思いますし、早く進めて頂きたいです。校内フリースクールを含め、小学校でも、不登校の子どもや保護者への取組みや、前向きになれるような支援を引き続きお願いしたいです。 八幡 44歳
- 口腔機能大切なんです。歯と口がいつまでも健康で生活出来るように歯周病検診を受けたいと思います。 大和 57歳

クイズに答えて 郡上市共通商品券を ゲットしましょう!



問1 新年度予算の一般会計の予算額は次のうちどれでしょうか?

- ① 286億2300万円
- ② 113億9094万円
- ③ 118億59万円

問2 教育委員会が新たに設置する、不登校の生徒に対応したクラスは何組でしょうか?

- ① B組
- ② F組
- ③ G組

問3 出産育児一時金の改定後の金額はいくらでしょうか?

- ① 40万8千円
- ② 45万8千円
- ③ 48万8千円

「議会だより」の中に答えがありますので、よく読んで探してください。

クイズ正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市共通商品券をプレゼントいたします。

応募方法

クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢を記入して、はがき又はファックスでご応募ください。QRコードからでも応募できます。当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。



ご意見は

ご応募に合わせて皆さまの声も是非お寄せください。お寄せいただいたご意見の一部について、内容を要約し、無記名で掲載させていただきます。

あて先

〒501-4297 郡上市八幡町島谷228番地
郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821
締め切り:令和5年5月24日(水) 当日消印有効
※ご応募いただいた個人情報には目的以外に一切使用いたしません。
※皆さまからお寄せいただいたご意見は、全議員及び市長はじめ執行部に報告させていただきます。

表紙写真説明

地域で学ぶ

地域を学ぶ

地域の方と学ぶ

3年生から6年生は、社会科や総合的な学習の時間に、自分たちが住む「美並を知る」学習を行っています。地域について、調べたり、見学したり、体験したりしながら、自分たちの考えをまとめ「美並のよさ」を発信していく学習です。子どもたちは、意欲的に学習に取り組み、堂々と自分の考えを発信しています。

子どもたちの学習によって改めて地域のよさを発見することができます。



6月定例会の予定

月日	曜日	会議の内容
6月5日	月	議会運営委員会・全員協議会
6月7日	水	産業建設常任委員会協議会
6月8日	木	総務常任委員会協議会
6月9日	金	文教民生常任委員会協議会
6月12日	月	開会・議案説明
6月13日	火	予算特別委員会・本会議
6月19日	月	一般質問
6月20日	火	
6月21日	水	
6月22日	木	総務常任委員会
6月23日	金	産業建設常任委員会
6月26日	月	文教民生常任委員会
6月29日	木	議会運営委員会
6月30日	金	閉会・全員協議会

※開会時間は原則9時30分です。
日程・時間は変更になる場合があります。

編集後記

「憧れてしまったのは超えられない。トップになるために来た。今日1日だけは彼らへの憧れを捨て、勝つことだけを考えていきましょう」米国のWBC決勝戦前、大谷翔平選手は、このような言葉を発したそうです。

裏を返せば、大谷選手が、他の選手を普段リスベクトし、憧れていることを意味しているのだと思えました。

また、他者をリスベクトできることの大切さを感じました。

お互いをリスベクトすることから議論は生まれ、民主主義の精神は芽吹きます。

野球だけでなく、民主主義の発展にとってもスーパースターから学ぶことは大きいです。

当委員会も広報と広聴の活動を通じて、民主主義の発展に努めます。

田中 やすひさ

広報広聴 特別委員会

- 委員長 渡辺友三
副委員長 森藤文男
- 委員 田代まさよ 養島もとみ
尾村忠雄 長岡文男
田中やすひさ
野田勝彦 本田教治

